

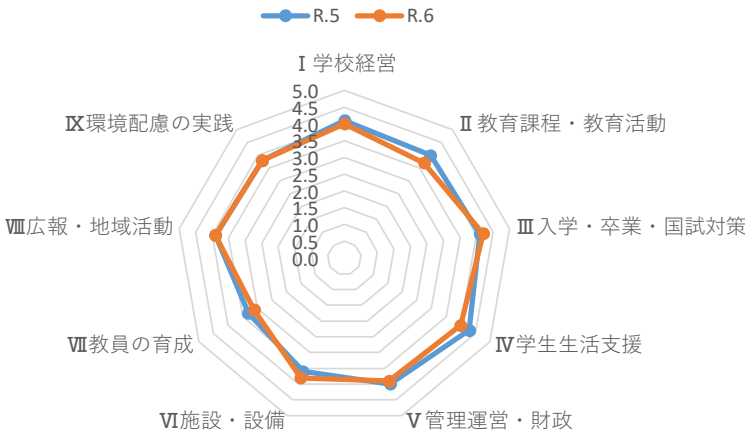
令和6年度 学校運営評価の結果

北九州市立看護専門学校

本校では学校運営について9カテゴリーで自己点検・自己評価を行い、本校の維持・発展に繋いでいきたいと考えます。ここに令和6年度における学校評価の内容と方向性を報告いたします。

項 目	R.5	R.6	評価内容・方向性
I 学校経営	4.1	4.0	○教育理念を念頭に置き教育方針は決定しているが、点検・検討が必要な時期になっている。目標を評価から次年度への取り組みに活かせるように努力が必要である。 ○カリキュラムを意識し、目標を設定して動いている。 ○学校運営の議論の場として、意見を率直に言える場になっているが建設的な場とまでは至っていない
II 教育課程・教育活動	4.0	3.7	○学生のレディネスを考えながら、講義・演習の方法を工夫している。 ○授業評価を活かし、自己分析を行い次の講義や次年度の組み立てに活かしている ○実習において担当教員の指導観に左右されない評価の信頼性が課題である。 ○評価基準の公開について工夫する必要がある。 ○学習困難者に対する教育方法の工夫・学校全体の考え方を柔軟にする必要がある。
III 入学・卒業・国試対策	4.1	4.2	○入学希望者が減少しているが、運営会議の実施により適正に選抜できている。 ○個人面談をするなど対応をしている。 ○自己選択できるように時間をかけて対応しているが、退学に至った学生もいる。
IV 学生生活支援	4.3	4.0	○カウンセリング方法を変更し、利用者の増加はあるが効果的な活用は課題である。 ○学生の相談できる環境をつくり、寄り添えるように努力している。
V 管理運営・財政	4.0	3.9	○組織体制・業務分署は作成しているが、各担当の役割分担については検討が必要である。 ○リーダー役割が明確ではなく、迷うことが多かった。 ○危機管理マニュアルの見直し・活用が行われていない。
VI 施設・設備	3.6	3.8	○老朽化はあるが、施設の改修・整備はすすめている。さらに整備が求められる。 ○教材・図書の整備を進めているが、活用方法に課題がある。 ○談話室の整備が進められ、少しずつ活用されている。
VII 教員の育成	3.3	3.1	○教員への研修の情報提供、参加の推奨は行っているが積極的な参加には至っていない。 ○オンデマンド研修の受講機会が増えたが、研修後の活用には至っていない。 ○個人的に共同研究に参加している教員もいるが、全体的な取組は課題である。
VIII 広報・地域活動	3.9	3.9	○ホームページの更新は継続的に実施しているが、SNSなどの活用も検討が必要。 ○学校説明会の開催や業者主催の説明会には積極的に参加し、効果が出てきている。
IX 環境配慮の実践	3.8	3.8	○心がけている。ペーパーレスの工夫が必要である。

令和5年度と令和6年度の比較



<まとめ>9項目全体を通して、最高点4.2（入学・卒業・国家試験対策）、最低点3.1（教員の育成）であった。平均3.8と令和5年度と比較し0.1ポイント低下となった。今年度は、新たな組織体制として担任制を導入しより学生に寄り添う体制を取り教育に取り組んだ。評価として、戸惑いの面が多く混乱を招くこともあり養育活動の点数の低下が影響した結果となった。教員の育成においては、研修機会の周知、時間確保に取り組んだが個人差が大きい結果となった。地域活動などは、学生自治会や医療センターの清掃活動に参加、福岡県や看護協会からの講師派遣要請において可能な限り対応した。新カリキュラムで初めての卒業生を輩出し、令和7年度はカリキュラム見直しに取り組む予定である。